

地域密着型通所介護 With 夢（短時間型通所サービス）

この「重要事項説明書」は、「大阪市通所型サービス(第1号通所事業)の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める要綱(平成29年4月1日)」の規定に基づき、指定短時間通所サービス提供契約締結に際して、ご注意いただきたいことを説明するものです。

1 指定短時間型通所サービスを提供する事業者について

事業者名称	松和株式会社
代表者氏名	代表取締役 松島 良和
本社所在地 (連絡先及び電話番号等)	〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目-5-6 光養ビル2号館5階 電話 06-6766-4647 FAX 06-6766-4648
法人設立年月日	令和5年4月6日

2 利用者に対するサービス提供を実施する事業所について

(1) 事業所の所在地等

事業所名称	地域密着型通所介護 With 夢
介護保険指定 事業者番号	大阪市 2794400396
事業所所在地 連絡先 相談担当者	大阪市城東区嶋野東2丁目6-7 コーポ・ラ・ベリエール101号 電話 06-6167-6297 ・ FAX 06-6167-6295 岡山 朔大
事業所の通常の 事業の実施地域	大阪市城東区、鶴見区、旭区、都島区
利用定員	15名

(2) 事業の目的及び運営の方針

事業の目的	With 夢が指定短時間通所サービスの適正な運営を確保するために人員及び運営管理に関する事項を定め、事業所の生活相談員及び看護師等の看護職員、介護職員、機能訓練指導員が、要支援状態の利用者に対し、適切な指定短時間通所サービスを提供することを目的とします。
運営の方針	事業所が実施する指定短時間通所サービスは、要支援状態の利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身機能の維持回復を図り、利用者の生活機能の維持または向上を目指すものとする。

(3) 事業所窓口の営業日及び営業時間

営業日	月曜日から土曜日まで但し、12月31日から1月3日は除く
営業時間	午前7時30分から午後6時30分まで

(4) サービス提供時間

サービス提供日	月曜日から土曜日まで但し、12月31日から1月3日は除く
サービス提供時間	午前9時30分から午後5時30分まで

(5) 事業所の職員体制

管理者	松島 利江
-----	-------

職	職務内容	人員数
管理者	<ol style="list-style-type: none"> 1 従業者の管理及び利用申込に係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行います。 2 従業者に、法令等の規定を遵守させるため必要な指揮命令を行います。 3 利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、機能訓練等の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等を記載した短時間型通所サービス計画を作成するとともに利用者等への説明を行い、同意を得ます。 4 利用者へ短時間型通所サービス計画を交付します。 5 指定短時間型通所サービスの実施状況の把握及び短時間型通所サービス計画の変更を行います。 	常勤 1名
生活相談員	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者がその有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、生活指導及び入浴、排せつ、食事等の介護に関する相談及び援助などを行います。 2 それぞれの利用者について、短時間型通所サービス計画に従ったサービスの実施状況及び目標の達成状況の記録を行います。 	常勤 1名 非常勤 1名
看護職員 (看護師・ 准看護師)	<ol style="list-style-type: none"> 1 サービス提供の前後及び提供中の利用者の心身の状況等の把握を行います。 2 利用者の静養のための必要な措置を行います。 3 利用者の病状が急変した場合等に、利用者の主治医等の指示を受けて、必要な看護を行います。 	非常勤 2名
介護職員	<ol style="list-style-type: none"> 1 短時間型通所サービス計画に基づき、必要な日常生活上の世話及び介護を行います。 	常勤 1名 非常勤 3名
機能訓練 指導員	<ol style="list-style-type: none"> 1 短時間型通所サービス計画に基づき、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、機能訓練を行います。 	常勤 1名 非常勤 1名

3 提供するサービスの内容及び費用について

(1) 提供するサービスの内容について

サービス区分と種類		サービスの内容
短時間型通所サービス計画の作成等		<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者に係る介護予防支援事業者等が作成した介護予防サービス計画（ケアプラン）等に基づき、利用者の意向や心身の状況等のアセスメントを行い、援助の目標に応じて具体的なサービス内容を定めた短時間型通所サービス計画を作成します。 2 短時間型通所サービス計画の作成に当たっては、その内容について利用者又はその家族に対して説明し、利用者の同意を得ます。また、計画を作成した際は、利用者に交付します。 3 指定短時間型通所サービスの提供に当たっては、利用者またはその家族に対し、サービスの提供方法について、理解しやすいように説明します。 4 指定短時間型通所サービスの事業者は、計画に基づくサービスの提供の開始から、少なくとも1月に1回は、利用者の状況やサービスの提供状況について、介護予防サービス計画等を作成した介護予防支援事業者等に報告します。 5 短時間型通所サービス計画に基づくサービスの提供の開始時から、当該短時間型通所サービス計画に記載したサービスの提供を行う期間が終了するまでに、少なくとも1回は、当該介護予防型通所サービス計画の実施状況の把握（「モニタリング」という。）を行います。 6 上記のモニタリングの結果を踏まえ、必要に応じて短時間型通所サービス計画の変更を行います。
利用者居宅への送迎		事業者が保有する自動車により、利用者の居宅（と事業所までの間の送迎を行います。ただし、道路が狭いなどの事情により、自動車による送迎が困難な場合は、車いす又は歩行介助により送迎を行うことがあります。
日常生活上の世話	食事の提供及び介助	食事の提供及び介助が必要な利用者に対して、介助を行います。また嚥下困難者のためのきざみ食、流動食等の提供を行います。
	入浴の提供及び介助	入浴の提供及び介助が必要な利用者に対して、入浴（全身浴・部分浴）の介助や清拭（身体を拭く）、洗髪などを行います。
	排せつ介助	介助が必要な利用者に対して、排泄の介助、おむつ交換を行います。
	更衣介助	介助が必要な利用者に対して、上着、下着の更衣の介助を行います。
	移動・移乗介助	介助が必要な利用者に対して、室内の移動、車いすへ移乗の介助を行います。
	服薬介助	介助が必要な利用者に対して、配剤された薬の確認、服薬のお手伝い、服薬の確認を行います。
機能訓練	日常生活動作を通じた訓練	利用者の能力に応じて、食事、入浴、排せつ、更衣などの日常生活動作を通じた訓練を行います。

	レクリエーションを通じた訓練	利用者の能力に応じて、集団的に行うレクリエーションや歌唱、体操などを通じた訓練を行います。
	器具等を使用した訓練	利用者の能力に応じて、機能訓練指導員が専門的知識に基づき、器械・器具等を使用した訓練を行います。
その他	創作活動など	利用者の選択に基づき、趣味・趣向に応じた創作活動等の場を提供します。
特別なサービス	口腔機能向上注) 1	(利用者に対するアセスメントの結果、必要と認められる場合に提供します。) 口腔機能向上の低下している又はそのおそれのある利用者に対し、歯科衛生士や看護師が口腔機能改善のための計画を作成し、これに基づく適切なサービスの実施、定期的な評価等を行います。(原則として利用開始から3か月以内まで)

注) 1 利用者の状態の評価の結果、継続的にサービス提供を行うことにより、口腔機能の向上の効果が期待できると認められる場合は、引き続きサービスを受けることができます。

(2) 短時間型通所サービス従業者の禁止行為

短時間型通所サービス従業者はサービスの提供に当たって、次の行為は行いません。

- ① 医療行為（ただし、看護職員、機能訓練指導員が行う診療の補助行為を除く。）
- ② 利用者又は家族の金銭、預貯金通帳、証書、書類などの預かり
- ③ 利用者又は家族からの金銭、物品、飲食の授受
- ④ 身体拘束その他利用者の行動を制限する行為（利用者又は第三者等の生命や身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除く）
- ⑤ その他利用者又は家族等に対して行なう宗教活動、政治活動、営利活動、その他迷惑行為

(3) 提供するサービスの利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）について

サービス提供区分		短時間型通所サービス費（Ⅰ）				短時間型通所サービス費（Ⅱ）	
		事業対象者・要支援1 週1回程度の利用が必要な場合 (単位数 1,259)		要支援2 週1回程度の利用が必要な場合 (単位数 1,259)		事業対象者・要支援2 週2回程度の利用が必要な場合 (単位数 2,535)	
		利用料	利用者負担額	利用料	利用者負担額	利用料	利用者負担額
通常の場合	1割負担	13,496円/月	1,350円/月	13,496円/月	1,350円/月	25,460円/月	2,546円/月
	2割負担		2,700円/月		2,700円/月		5,092円/月
	3割負担		4,049円/月		4,049円/月		7,638円/月
日割りとなる場合	基本	利用者負担	439円	439円/日	889円/日		
	1割		44円	44円	89円		
	2割		88円	88円	178円		
	3割		132円	132円	267円		

※ 日割りとなる場合とは、以下のような場合で、()内の日をもって日割り計算を行います。

- ・ 月途中からサービス利用を開始した場合（契約日）
- ・ 月途中でサービス利用を終了した場合（契約解除日）
- ・ 月途中に要介護から要支援に変更になった場合（変更日）
- ・ 月途中に要支援から要介護に変更になった場合（変更日）
- ・ 同一市町村内で事業所を変更した場合（変更日）

	★2加 算	利用料	利用者負担額	算 定 回 数 等	
要支援度区分あり	口腔機能向上加算 (単位数 Ⅱ 160)	1,715円	172円	1月に1回	
	科学的介護推進体制加算 (単位数 40)	428円	43円	1月に1回	
	サービス提供強化加算	(Ⅱ) 72単位	事業対象者 要支援1、2 (週1回程度)	771円	78円
		(Ⅱ) 144単位	事業対象者 要支援2 (週2回程度)	1,543円	155円
		(Ⅲ) 24単位	事業対象者 要支援1、2 (週1回程度)	257円	26円
(Ⅲ) 48単位		事業対象者 要支援2 (週2回程度)	514円	52円	
区分なし	介護職員等処遇改善加算	(Ⅱ) 所定単位数の90/1000	左記の1割	基本サービス費に各種加算減算を加えた総単位数(所定単位数)	

★2 算定する加算のみ記載してください。

- ※ 月平均の利用者の数が当事業所の定員を上回った場合及び短時間通所サービス従業者の数が人員配置基準を下回った場合は、上記金額のうち基本単位数に係る翌月(又は翌々月)の利用料及び利用者負担額は、70/100となります。
- ※ 事業所と同一建物に居住する利用者又は同一の建物から通う利用者は1月につき利用料が週1回程度利用(要支援1、2又は事業対象者)は4,030円(利用者負担403円)、週2回程度利用(要支援2又は事業対象者)は8,061円(利用者負担807円)減額されます。
「同一建物」とは、指定短時間型通所サービス事業所と構造上又は外形上、一体的な建物をいいます。
- ※ 居宅と事業所との間の送迎を行わない場合は、片道503円(利用者負担51円)を(1週に1回程度の指定通所型サービスの場合1月につき4,030円(利用者負担403円)、1週に2回程度の指定通所型サービスの場合1月につき8,061円(利用者負担807円)を限度に)減額されます(同一建物減算の対象となっている場合には減算対象とはなりません)。

◎ 1単位=10.72円で計算しています。

4 その他の費用について

送迎費	通常の事業の実施地域を超えて行う送迎に係る費用として、通常の事業を超えた地点から、片道 200 円をいただきます。
食事の提供に要する費用	朝食 400 円・昼食 500 円・夕食 600 円・おやつ 100 円
おむつ代	リハビリパンツ 150 円/枚 パット 50 円/枚 尿取りパット 30 円/枚 布パンツ実費をいただきます。※ただし、次回返却された場合は、いただきますません。(布パンツを除く)
連絡帳・ケース	各 100 円 連絡帳については、初回無料
レンタルタオル	フェイスタオル+バスタオル 150 円
その他	洗濯サービス 150 円 レクリエーション材料費等は、実費をいただきます。

5 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）その他の費用の請求及び支払い方法について

① 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）、その他の費用の請求方法等	<p>ア 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）及びその他の費用の額はサービス提供ごとに計算し、利用月ごとの合計金額により請求いたします。</p> <p>イ 上記に係る請求書は、利用明細を添えて利用月の翌 20 日頃までに利用者あてお届け（郵送）します。</p>
② 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）、その他の費用の支払い方法等	<p>ア サービス提供の都度お渡しするサービス提供記録の利用者控えと内容を照合のうえ、請求月の末日までに、下記のいずれかの方法によりお支払い下さい。</p> <p>(ア) 事業者指定口座への振り込み (イ) 現金支払い</p> <p>イ お支払いの確認をしましたら、支払い方法の如何によらず、領収書をお渡ししますので、必ず保管されますようお願いいたします。(医療費控除の還付請求の際に必要なことがあります。)</p>

※ 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）及びその他の費用の支払いについて、正当な理由がないにもかかわらず、支払い期日から 1 ヶ月以上遅延し、さらに支払いの督促から 7 日以内に支払いが無い場合には、サービス提供の契約を解除した上で、未払い分をお支払いいただくことがあります。

6 サービスの提供にあたって

- (1) サービスの提供に先立って、介護保険被保険者証に記載された内容（被保険者資格、要支援認定の有無及び要支援認定の有効期間）を確認させていただきます。被保険者の住所などに変更があった場合は速やかに当事業者にお知らせください。
- (2) 利用者が要支援認定を受けていない場合は、利用者の意思を踏まえて速やかに当該申請が行われるよう必要な援助を行います。また、介護予防支援等が利用者に対して行われ

ていない等の場合であって、必要と認められるときは、要支援認定の更新の申請が、遅くとも利用者が受けている要支援認定の有効期間が終了する 30 日前にはなされるよう、必要な援助を行うものとします。

- (3) 利用者に係る介護予防支援事業者等が作成する「介護予防サービス計画（ケアプラン）」等に基づき、利用者及び家族の意向を踏まえて、「短時間型通所サービス計画」を作成します。なお、作成した「短時間型通所サービス計画」は、利用者又は家族にその内容を説明いたしますので、ご確認いただくようお願いいたします
- (4) サービス提供は「短時間型通所サービス計画」に基づいて行ないます。なお、「短時間型通所サービス計画」は、利用者等の心身の状況や意向などの変化により、必要に応じて変更することができます
- (5) 短時間型通所サービス従業者に対するサービス提供に関する具体的な指示や命令は、すべて当事業者が行いますが、実際の提供にあたっては、利用者の心身の状況や意向に十分な配慮を行ないます。

7 虐待の防止について

事業者は、利用者等の人権の擁護・虐待の防止等のために、次に掲げるとおり必要な措置を講じます。

- (1) 虐待防止に関する責任者を選定しています。

虐待防止に関する責任者	(管理者) 松島 利江
虐待防止に関する担当者	(生活相談員)岡山 朔大

- (2) 成年後見制度の利用を支援します。
- (3) 苦情解決体制を整備しています。
- (4) 従業者に対する虐待防止を啓発・普及するための研修を実施しています。
- (5) 虐待の防止のための対策を検討する委員会を設立します。
- (6) 虐待の防止のための指針を作成します。

8 身体拘束について

事業者は、原則として利用者に対して身体拘束を行いません。ただし、自傷他害等のおそれがある場合など、利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことが考えられるときは、利用者に対して説明し同意を得た上で、次に掲げることにより留意して、必要最小限の範囲内で行うことがあります。その場合は、身体拘束を行った日時、理由及び態様等についての記録を行います。

また事業者として、身体拘束をなくしていくための取り組みを積極的に行います。

- (1) 緊急性……直ちに身体拘束を行わなければ、利用者本人または他人の生命・身体に危険が及ぶことが考えられる場合に限りします。
- (2) 非代替性……身体拘束以外に、利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことを防止することができない場合に限りします。
- (3) 一時性……利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことがなくなった場合は、直ちに身体拘束を解きます。

11 事故発生時の対応方法について

利用者に対する指定短時間型通所サービスの提供により事故が発生した場合は、市区町村、利用者の家族、利用者に係る介護予防支援事業者等（地域包括支援センターより介護予防支援等の業務を受託している居宅介護支援事業者を含む。以下同じ。）に連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。

また、利用者に対する指定短時間型通所サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行います。

なお、事業者は、下記の損害賠償保険に加入しています。

保険会社名	三井住友海上火災保険株式会社
保 険 名	福祉事業者総合賠償責任保険
保障の概要	施設でのサービス提供時における事故等 福祉事業に関わる損害賠償リスクを総合的に補償

12 心身の状況の把握

指定短時間型通所サービスの提供に当たっては、介護予防支援事業者等が開催するサービス担当者会議等を通じて、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努めるものとします。

13 介護予防支援事業者等との連携

- ① 指定短時間型通所サービスの提供に当り、介護予防支援事業者等及び保健医療サービスまたは福祉サービスの提供者と密接な連携に努めます。
- ② サービス提供の開始に際し、この重要事項説明に基づき作成する「短時間型通所サービス計画」の写しを、利用者の同意を得た上で介護予防支援事業者等に速やかに送付します。
- ③ サービスの内容が変更された場合またはサービス提供契約が終了した場合は、その内容を記した書面またはその写しを速やかに介護予防支援事業者等に送付します。

14 サービス提供の記録

- ① 指定短時間型通所サービスの実施ごとに、サービス提供の記録を行うこととし、その記録は、サービスを提供した日から5年間保存します。
- ② 利用者は、事業者に対して保存されるサービス提供記録の閲覧及び複写物の交付を請求することができます。

15 業務継続計画の策定等

- (1) 感染症にかかる業務継続計画及び災害に係る業務継続計画を作成します。
- (2) 感染症及び災害に係る研修を定期的に（年1回以上）に行います。
- (3) 感染症や災害が発生した場合において迅速に行動ができるよう、訓練を実施します。

16 非常災害対策

- ① 事業所に災害対策に関する担当者（防火管理者）を置き、非常災害対策に関する取り組みを行います。
災害対策に関する担当者職・（生活相談員 岡山 朔大）
- ② 非常災害に関する具体的計画を立て、非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に従業員に周知します。
- ③ 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行います。
避難訓練実施時期・・・（毎年2回）

17 衛生管理等

- (1) 感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会を設立します。
- (2) 感染症の予防及びまん延の防止のための指針を作成します。
- (3) 感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練を実施します。
- (4) 従業員の清潔の保持及び健康状態について、必要な管理を行います。
- (5) 事業所の設備及び備品等について、衛生的な管理に努めます。

18 サービス提供に関する相談、苦情について

- (1) 苦情処理の体制及び手順
 - ア 提供した指定短時間型通所サービスに係る利用者及びその家族からの相談及び苦情を受け付けるための窓口を設置します。（下表に記す【事業者の窓口】のとおり）
 - イ 相談及び苦情に円滑かつ適切に対応するための体制及び手順は以下のとおりとします。

(2) 苦情申立の窓口

<p>【事業者の窓口】 地域密着型通所介護 With 夢</p>	<p>所在地：〒536-0013 大阪市城東区鳴野東 2-6-7 コーポ・ラ・ベリエール 101 号 電話番号：06-6167-6297 FAX：06-6167-6295 受付時間：午前9時30分～午後5時30分</p>
<p>【大阪市の窓口】 大阪市福祉局高齢者施策部介護保険課 （指定・指導グループ）</p>	<p>所在地：〒541-0055 大阪市中央区船場中央 3 丁目 1 番 7-331 電話：06-6241-6310 FAX：06-6241-6608 受付時間：9：00～17：30</p>
<p>【公的団体の窓口】 大阪府国民健康保険団体連合会</p>	<p>所在地：〒540-0028 大阪市中央区常盤町 1 丁目 3 番 8 号 中央大通 FN ビル 電話番号：06-6949-5418 FAX:06-6949-5417 受付時間：午前9時～午後5時</p>

29 提供するサービスの第三者評価の実施状況について

<p>実施の有無</p>	<p>なし</p>
--------------	-----------

20 この重要事項説明書の概要等については、当該事業所の見やすい場所に掲示するとともに、当該事業所のウェブサイト（法人ホームページ）へも記載します。

2 重要事項説明の年月日

この重要事項説明書の説明年月日	年	月	日
-----------------	---	---	---

上記内容について、「大阪市通所型サービス（第1号通所事業）の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める要綱（平成29年4月1日）」の規定に基づき、利用者に説明を行いました。

事業者	所在地	
	法人名	
	代表者名	
	事業所名	
	説明者氏名	

上記内容の説明を事業者から確かに受けました。

利用者	住所	
	氏名	

代理人	住所	
	氏名	